

震災復興

この人に聞く

インタビューシリーズ

一津波選手の訓練を定期的に行つていく」とも大切。津波は広範囲を観るので、訓練も広域で行うことが重要だらう。

映像アーカイブで 震災の怖さ継承

「今回の震災を体験し、一歩民の防災意識を維持していく取り組みも必
然だらうが、意識は徐々に低下していく。これまで将来も変わらぬ形で、いつまた襲
来するかわからない」と、吉田さん。

が分かるので、安全な避難計画を逆算することが人によつてまちまち。今できる。これに避難行動 後の課題となるだろつ

今後の利用展開は。
「今はまだ第1段階。
最大級の津波への対策で
は避難計画が重要だ。津
えればさらに強いツール
になるが、人間の行動を
シミュレーションするに
とは難しい。いつ動き、ど

要因の把握も重要

卷之三

の橋本孝之社長||11月
22日、東北大

指揮の選択

津波の侵入過程 アニメーションで

A black and white photograph of a middle-aged man with dark hair and glasses, smiling warmly at the camera. He is wearing a dark, textured sweater over a collared shirt. His hands are clasped together on a table in front of him. The background is filled with bookshelves, suggesting a library or study environment.

いまむら・ふみひこ 1961年山梨県生まれ。東北大工学院工学研究科博士課程修了。東北大災害制御研究センターアシスタント教授を経て2000年から現職。専門は津波工学。内閣府中央防災会議専門委員、政府の復興構想会議検討部会委員、宮城県震災復興会議委員などを務める。



仙台市の津波浸水シミュレーションの一覧

【目標】は津波が到達する前に全員が避難場所に着くこと。そのためには駐車場の充実など、震災発生後も渋滞の発生や住民同士での争いにならなかった課題を情報交換など、避難途中もアリとしていたい。

心理的な要素は不確
実で、防護ラインの位
置やかさ上げ道路の高さ
などを変えた方がよ
い」とあるが、この「
」の部分が多
いのが、シミュレ
ーションの結果は、
ままで、要素として
は要素として、な
うことができる」

「波の細かい拳動が誰にで
きと共同開発した。津波シ
ミュレーション」は市
の復興計画策定の基礎資
料になっています。東北
大と日本IBMは連携協
定も結びました。

「津波のシミュレーション」
をちゃんと設定すれば結果
的に波が大きくなり頭で
シミュレーションの成分が加わ
れば、防潮堤を壊して沿岸
部の被害を甚大にした。
このメカニズムはきちんと
と研究しなければいけな
い」ともできる。津
一仙台市や日本IBM
波の細かい拳動が誰にで
きと共同開発した。津波シ
ミュレーション」は市
の復興計画策定の基礎資
料になっています。東北
大と日本IBMは連携協
定も結びました。

「自然現象のシミュレーシ
ョンなのだ」条件を満
たすと、地区の選定などにも反映
される。